



わたし図書館はじめます ひとハコ図書館

自分が小さな図書館の館長になったら？

という構想を一箱にぎゅっと詰め込んだ「ひとハコ図書館」

今年のひとハコ図書館は……

★ひとハコ紹介 ☆関連企画

□ 共和国国立東久留米図書館アネックス図書館

館長：下平尾直さん（株式会社共和国）

★本は自由です。何部作ってもいいし、サイズも自由だし、何を書いてあっても、本当はいいのです。

ただ、そうしないと不都合な人がいるので取り決めが生まれました。この図書館では、できるだけ

「自由」な本を開架でご紹介します。

☆本のしくみを知ろう！ 本の解体ショー

本はどうやってできているのだろう？完成している本を分解することで本の仕組みを学びます。

また、地元の出版社の方から本の作り方を伺います。

[日時] 15 日(土) 16:15～17:00

[定員] 5 名 ※当日先着順（受付 16:00～）

□ 校正校閲ってなにになに図書館

館長：株式会社鷗来堂さん（書籍の校正校閲専門会社）

★普段名前が出ることは無いけれど、本を出版するときに必要な仕事、校正校閲について知ることができます。校閲者が手元においている本や興味が湧く本などをご紹介します。

☆本好きのための 校正・校閲きほんのき

本づくりの「縁の下の力持ち」である校正・校閲の専門家が、普段は本の読者である皆さんに校正・校閲の魅力や面白さをお伝えします。

[時間] 各日 13:00～14:00

[定員] 各回 10 名 ※当日先着順（受付 12:00～）

[講師] (株) 鷗来堂 校閲部

□ 読めない図書館

館長：丸山晶崇さん（デザイナー、ギャラリー兼書店を運営）

★『積読（ツンドク）のススメ』 黙読、音読、朗読、速読など、本にはいろいろな読み方があります。

本は知の集積。いますぐには役に立つような知識も、自分にはおよそ役に立たない無駄な知識も、もっともっと取り入れたい。より多くの本を読みたいのだけれど、限られた時間のなかで全ての本を読むことはできません。本との出会いは一期一会。「買ったのに・借りたのに読まなかった」のではなく、まだ読んでいないだけなのです。いまは読まない本も、いつか時が来たら熟成させたお肉のように、おいしくいただけるのです。そんなコンセプトを掲げ、部屋の片隅に積んでおくべき一冊を選びました。

もちろん、僕はまだ読んでいません。

□ 心が踊る図書館

館長：我孫子祐さん（漫画家・『東のくるめと隣のめぐる』『恋する水族マン』作者）

★本を紹介できる機会はめったにないので とにかくオススメの読んでもらいたい本を並べました。

□ ないかもしれない図書館

館長：古賀弘幸さん（フリーランス編集者）

★「書物」は紙と文字でできていますが、モノとしての書物はどんな秩序によって、どのように組み合わせられてできているのでしょうか。その歴史をすこし考えてみたいと思います。

□ 本棚は理想の街図書館

館長：ブックセンター滝山さん

★本は集まると“街”になる！医学書は病院！レシピ本はレストラン！あなたの本棚はあなたの理想の街なのです！

□ わたしの ための 図書館

館長：田中朋代さん（陶工房 忍冬窯）

★わたしが企画する図書館ではなく、わたしのための図書館です。思い出がつまった本、知人がたずさわった本、目指すところにある本。手元にあるだけで満足な本、時々いいえ頻繁に市立図書館からお借りする本。背表紙が好き、写真が好き、紙質が好き。好き、を集めた欲張りでわがままな図書館です。

□ タイムマシン絵本図書館

館長：原朋子さん（多摩六都科学館）

★科学を学ぶとき、自分で直接感じることはとても大切ですが、長い時間をかけて変化していく様子や一瞬の現象はなかなか体験できません。そこで、時間を縮めたり伸ばしたり、タイムマシンのように見せてくれる科学絵本を集めました。

☆科学と本をつなぐ ろくとほんと

『布はなにからできている？』身近にある布はどんな糸からできているのかをほどいて確かめ、糸の素材（糸の元）を調べて、糸図鑑を作ります。親子参加もOKです。

〔 時間 〕 各日 10:30～11:00

〔 定員 〕 各回 10 名 ※当日先着順（受付 10:00～）

〔 対象 〕 小学生以上

□ 悠好（にいはお）図書館

館長：高田理恵さん（図書館司書）

★中華圏を旅していて、見つけた本を集めました（台湾など、地域を知ることができる本もあります）。

☆本の紹介ゲーム mini ビブリアバトル

本の魅力を制限時間内でプレゼンし、参加者の投票でチャンプ本を決める本の紹介ゲームです。

今回は発表時間 3 分の体験型で行います。

〔 時間 〕 各日 14:00～14:40

〔 定員 〕 各回 4 名 ※要事前申込・先着順（中央図書館に電話 042・475・4646）または来館で

〔 対象 〕 小学校高学年以上

〔 持ち物 〕 紹介したいお気に入りの本 1 冊

□ 伊那市立高遠町図書館

館長：伊那市立高遠町図書館のみんなさん

★信州（長野県）伊那谷の豊かな自然環境や地域に働きかけてきた暮らしの中に残る多くの文化遺産・自然遺産の紹介。

□ ものづくりの図書館

館長：結城智里さん（機械振興協会 BIC ライブラリ）

★「ものづくり」、その中でも機械に関わる本をご紹介します。そして新しいものづくりの代表として、同じコーナーで3Dプリンタの実機を展示します。

☆ものづくり図書館の3Dプリンタ展示

小さな3Dプリンタが会場内にやってきます。3Dプリンタは、世の中にどうやって役立つの？図書館にあることでどんな意味が生まれるの？ものづくりに生かす技術をぜひごらんください。

□ そうきりん図書館

館長：時田良枝さん（NPO 法人コイノニア勤務、作業療法士）

★いろんな生き方、あり方に触れてみて、出会ってみて

□ “読む人権 じんけんのほん” 図書館

館長：林勝一さん（東京都人権啓発センター）

★「人権」。すべての人に関わることなのに、「人権」という言葉は身近なものではない気がします。「人権」を自分のことばに噛み砕くためのヒントになるような本を集めてみました。

□ 格差と貧困について考える図書館

館長：飯島裕子さん（ノンフィクションライター）

★誰にとっても他人事ではない、格差と貧困に関する本をマジメに集めてみました。一朝一夕で解決できることはありませんが、皆で一緒に考えるきっかけになればと思います。

□ きょうされん図書館

館長：多田由美さん（きょうされん多摩北部ブロック長）

★1977年、16か所の共同作業所によって結成され、現在は、1916か所、様々な障害者福祉事業所により活動の場を広げているきょうされん。障害のある人びとのゆたかな地域生活を支える制度づくり、地域づくりを目指し取り組んできました。すべての障害のある人たちが、前を向いて、「普通の暮らし」をし続けられるよう、そして、障害ある人たちを支える人たちが、本人ご家族に寄り添い、誇りをもって一人ひとりを支え仕事していけるよう、分けへだてのない社会をめざして活動しています。ひとハコ図書館には、こうした「きょうされんがめざすもの」の思いが伝わる本を選びました。

□ 東久留米の自然に包まれる図書館

館長：Higashikurume 麦さん（パン屋さん）

★東久留米の豊かな自然にあらためて触れてみる。そこから広がるいろいろな世界をのぞいて見よう!!

□ 「直し方の知らないもの」の図書館

館長：東久留米市役所 環境政策課

★1992年に行われた「環境と開発に関する国際連合会」でのセヴァン・カリス・スズキさんのスピーチ “If you don't know how to fix it, please stop breaking it!” より引用しました。「直し方の知らない」環境問題として「生物の多様性」「地球温暖化問題」に関する書籍を紹介します。

□ 水やり人の図書館

館長：ハナサクbiz. 応援隊

★夢さく、花さく、ハナサクbiz. 地域で自分らしく仕事がしたい方を応援します。自分らしく働きたい！地域の役に立ちたい！ビジネスで自立したい！めいめいのめいっばいを、その人らしい仕事づくりを 応援します。起業へのヒントと元気がつまった図書館です。

□ 本の虫ユウの元気になる図書館

館長：本の虫ユウさん（ぼけっと編集委員、高校で図書委員をしている 16 歳）

★私が読んでいて笑えた本、楽しい気持ちや優しい気持ち、前向きになれた本を集めました。ミステリから、青春物までいろんなジャンルを取り揃えています。

□ 元気な女の子図書館

館長：春花さん（本が大好きな小学 5 年生）

★自由で元気な女の子の話を集めました。

□ 自然図書館

館長：^{えすけーけーゆー}SUKU さん（久留米中学校 2 年生）

★おしゃれなドアを開けると自然についての本がたくさんある。

□ 鉄道図書館

館長：s e i b u 9102F さん（中央中学校 3 年生）

★自分の感覚をたよりに集めたひととハコです。

□ ワクワク動物図書館

館長：飯村^{ほの}萌暖さん&酒井さん（中央中学校 3 年生）

★小さい子によんでもらいたい気持ちと、友達の動物好きをまぜてつくりました。

□ 『読書のかたち』^{としかん}図書館

館長：^{は ん で い き ャ ッ プ サ ー ビ ス グ ル ー プ}ハンディキャップサービスグループ（^{ひがしくるめしりつちゅうおうとしかん}東久留米市立中央図書館）

★ここに ^{あつめたほん}集めた本は、^{いんさつ}印刷された ^{もじほん}文字の本を そのままでは ^{よめない}読めない・^{よみにくい}読みにくい ^{ひと}人でも ^{どくしょ}読書に ^{したしめる}親しめるよう、^{さまざま}様々な ^{くふう}工夫が ^めされています。 ^め目で、^て手で、^{みみ}耳で ^{およみ}お読みください。

□ まる⑦の図書館

館長：地域資料グループ（東久留米市立中央図書館）

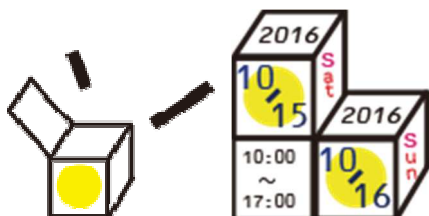
★⑦がしくめ市立図書館の埋もれた歴史を⑦みつの資料や⑦日常（いつもと違うと読んでね）の資料で探す図書館

□ あるいて まわろう たるひ図書館

館長：児童サービス（東久留米市立中央図書館）

★「舞台となった東久留米」東久留米市在住だった古田足日さんは東久留米市を舞台にたくさんのおはなしを書きました。実際に町歩きをして古田さんの作品世界を楽しみましょう。

10/15(土)・16(日) 10:00~17:00



東久留米市立中央図書館

東京都東久留米市中央町 2 - 6 - 2 3

電話 042-475-4646 FAX 042-475-6631

<https://www.lib.city.higashikurume.lg.jp>

twitter: @higashikurume_t